
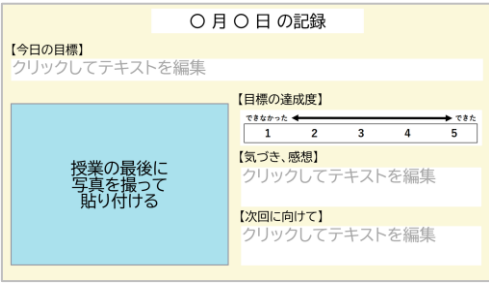
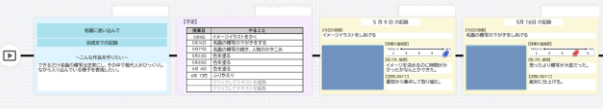
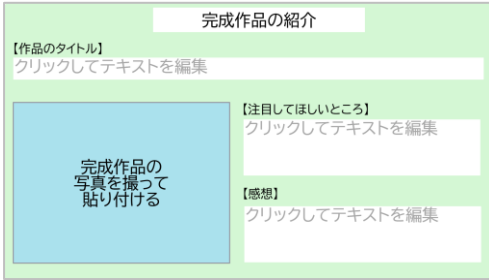


おすすめICT活用事例のご紹介

区分				学年	教科等	単元等	活用ソフト
中				全	美術 技術家庭	制作過程の記録	オクリンクプラス
授業内容	制作過程を記録し、次時の取り組みにつなげる						共有コード  pb01JRSS6T63Y8W9V9VSVGVT11PJ
	準備： ・共有コードを使用してカードを取得する。 ・「予定」のカードに「授業日」と「やること」を入力しておく。（子供に入力させてもよい） ・準備したカードを子供たちのマイボードに送信する。 ・2時限目以後は、授業前に「時間割」画面から授業を該当の日時に移動しておく。 授業の流れ： 1. 先頭のカードの「こんな作品を作りたい」に入力し、提出BOXに送信する。 2. 各授業の最初に「日付」「今日の目標」を入力し、作品の制作に取り組む。 3. 授業の最後に作品の写真を撮ってカードに挿入し、「目標の達成度」にピンを置く。「気づき、感想」「次回に向けて」を入力する。提出BOXに送信する。 4. 次時からは毎時間、「今日の目標」を入力する際に前時の入力内容を確認する。カードを複製して、2と3を実施する。子供は複製したカードをマイボード上でつなげておく。 5. 作品が完成したら、完成作品の紹介カードに作品の写真を挿入し、「作品のタイトル」「注目してほしいところ」「感想」を入力し、提出BOXに送信する。						毎時の記録 
	子供はマイボード上でカードを保存します 						完成作品の紹介 
ICT利活用のポイント	・写真をカードに挿入することで、制作過程を視覚的に記録することができます。 ・前時までの記録を見返すことで、反省や留意点を意識したうえで続きに取り組むことができます。 ・先生は提出BOXで子供の進捗やつまずきを把握することができます。提出履歴も確認ができます。 ・作成したカードをみんなのボードに送り、入力したテキストやピンを集計して、クラスで共有することもできます。						
おすすめポイント	・進捗を記録することで「今日は集中して取り組むことができた」「今日はあまり進まなかった」等、自身の状況を客観視することができます。 ・見通しを持って制作する力や、前時の反省を活かして取り組む力を育成します。						